はばたき

青少年育成さいたま市民会議会報
vol.38
令和７年３月31日
編集・発行
青少年育成さいたま市民会議
さいたま市浦和区常盤６丁目４番４号
（さいたま市子ども・青少年政策課内）
電話　048-829-1716

「うちゅうにふわふわハチひこう中」
さいたま市立大砂土小学校　３年　丸岡　橙真（とうま）さん

令和６年度青少年の主張大会　入選者（敬称略）

〔さいたま市長賞〕
大宮南中学校　二年　小川原（おがわら）　葵（あおい）
「一人一人の意識が変われば」

〔さいたま市議会議長賞〕
片柳中学校　三年　菊地（きくち）　彩乃（あやの）
「平和への一歩」

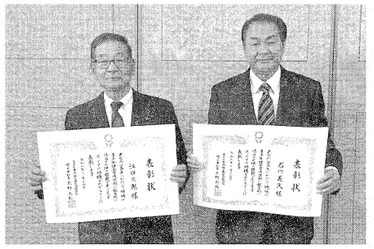
〔さいたま市教育委員会教育長賞〕
浦和南高等学校　一年　東海林（しょうじ）　美日愛（みひめ）
「『シンギュラリティのその先へ』」

〔青少年育成さいたま市民会議会長賞〕
針ヶ谷小学校　五年　小林（こばやし）　奏太（そうた）
「『体験することのすばらしさ』」

〔優秀賞〕
大宮西小学校　四年　吉田（よしだ）心莉彩（みりあ）
「『ふつう』って何だろう？」
美園小学校　四年　山口（やまぐち）　律（りつ）
「『いいことないかなー』」
岸町小学校　六年　清水（しみず）　慎平（しんぺい）
「『僕たちの遊ぶところ』」
馬宮中学校　一年　葩島（はいじま）　奏（かなで）
「日本の悲劇」
大宮南中学校　二年　渋谷（しぶや）　実由（みゆ）
「カラフル」
埼玉栄高等学校　一年　黄（こう）　京京（きょうきょう）
「命は軽くない」
埼玉栄高等学校　一年　多田（ただ）　華美（はなみ）
「女性の価値」
埼玉栄高等学校　一年　細谷（ほそや）　悠愛（ゆめ）
「『ルールって何だろう』」

入選者の作品は令和７年３月発刊の記録集に掲載しています。
記録集は、市内小・中・高等・特別支援・中等教育学校及び関係機関（図書館、公民館等）に配布しています。

県民会議表彰



令和６年11月24日（日）、埼玉県知事公館にて「令和６年度青少年育成埼玉県民会議表彰式」が開催され、指扇地区会・江口三郎会長及び道祖土地区会・石川義久会長が青少年育成功労賞を受賞しました。誠におめでとうございます。

第二十三回　さいたま市青少年育成推進大会

開催日　令和七年二月二十二日（土）
会　場　さいたま市産業文化センター　ホール

記念講演
演　題　「子どもの幸せを願い　子どもの幸せを保障するために
～今こそ、共育の力で～」
講　師　さいたま市教育委員会学校教育部総合教育相談室
参事兼室長　米玉利（よねたまり）　優子（ゆうこ）　氏

受賞者紹介（敬称略）
・団体　一団体　・二十年功労　一十一名
・十年功労　二十八名　・五年功労　二十六名

○善行青少年表彰（三年以上継続した校外活動の善行）
・中尾小学校　鈴木　祐輝
・植竹小学校　橋本　音子
・海老沼小学校　南鳳台子ども会
・大宮国際中等教育学校　日本語教室ＳＡ

○特別表彰
・高砂小学校　力石　悠里・田中　みくる・三枝　咲月・前田　杏樹
・谷田小学校　天野　汐莉・井上　芽郁
・上木崎小学校　森田　奏空・芳原　詩織・苅和　紗菜・菱沼　陽太
・大成小学校　齊藤　来紗・成川　由妃・定村　健一郎
・泰平小学校　ふれあい委員会
・慈恩寺小学校　成田　恵介
・美園北小学校　堀内　遙真
・大久保中学校　平山　大悟・澤田　琥心
・大谷場中学校　富田　和貴・日暮　麻結・福田　圭治・佐々木　春翔・平田　天青
・田島中学校　秋田　菜歩・榎本　湊
・三室中学校　作田　智理・勝島　隼
・大宮南中学校　竹原　未桜
・指扇中学校　青山　佳南子
・美園南中学校　水上　周哉

←大会プログラムは
こちらからご覧いただけます。

会長挨拶

進級の時期／チャンスをものに!!

青少年育成さいたま市民会議　会長　久世　晴雅

春の花が咲き、光に満ちた季節となりました。進学・進級の時期を迎え、児童生徒の皆さんは夢と希望を持っておられることでしょう。

小学校時代は子ども会等、地域の活動で楽しんでくれたことと存じます。中学校時代は部活動により、個人、個性、将来の道などを模索されたことと存じます。高校時代は中学校で学んだことを充実されて実らせることと存じます。

例えば、大リーグでは大谷選手、山本選手をはじめ、多くの選手がアメリカに渡り、日本人の代表として活躍されています。学生時代に学んだことを今実行していることと思います。

青少年の皆さん、進級の時に自分を再発見して、チャンスがあれば実らせてください。私たち青少年育成さいたま市民会議の各地区会は皆さんを応援しています。

トピックス

令和８年４月に「学びの多様化学校」を開校します

「学びの多様化学校」は、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成して教育を実施する文部科学省指定の学校です。さいたま市が目指す「学びの多様化学校」は、対面による学習とオンラインで行う学習をバランスよく組み合わせた学校となります。令和７年４月に、学校説明会を実施します。令和７年７月下旬から８月においてプレ開校（模擬体験）を行う予定です。

さいたま市の「学びの多様化学校」の詳細はこちらから→

大宮区 大宮南地区会

中学校の部活動体験で交流

当会の特色ある主催事業の一つに「大宮南中学校部活動体験教室」があります。この事業は、平成十六年に始まり昨年二十一回目を開催しました。

十月の土曜日の午後、大宮南中学校に進学する地域二校の小学校五・六年生が、自身の希望する運動部・文化部の活動を体験します。毎年対象者の半数以上百名を超える小学生が、顧問の先生の指導の下で中学生と一緒に活動します。交流を通じて中学校生活への期待や希望が膨らむと共に「中一ギャップ」軽減にも寄与する事業となっています。また、当日には、小学生保護者を対象とした中学校の施設見学会を実施しています。

野球部の体験

北区 北区連絡会

北区民まつりで昔遊び

北区の花 菜の花

北区連絡会は日進地区会、宮原地区会、大砂土地区会、植竹地区会の四地区の連合でさいたま市の最北部に位置しています。

毎年十一月の「北区民まつり」には総力を上げて結集し子どもコーナーを開催しています。ベーゴマ、お手玉、大きなシャボン玉、竹とんぼなどの昔遊びで子どもたちと楽しんでいます。

令和六年度は四万八千人が来場した北区民まつりにおいて、連絡会のブースにも子どもたちがたくさん集まり恒例の行事になっています。

青空の下で昔遊びをする子どもたち

岩槻区 新和地区会

地域の子どもたちと共に

当地区会は新和小学校区と城南中学校区の一部地域で活動しています。近年、美園東地区の人口の増加に伴いその内容は大きく変化しています。今までより、参加者数も増えて嬉しい限りです。

十一月の秋のお楽しみ会では子どもたちだけで百六十二名の参加を得ました。中学生のボランティア十五名のおかげで、大成功のイベントになりました。ダーツ、アーチェリー、ビンゴ等で体育館は笑顔で溢れました。

また、十二月のママ・チェリィライブは、土曜チャレンジの児童をメインに、地域の方々と二人のキーボード演奏者の大熱演に楽しい時間を共有できました。

ママ・チェリィライブ2024

見沼区 春岡地区会

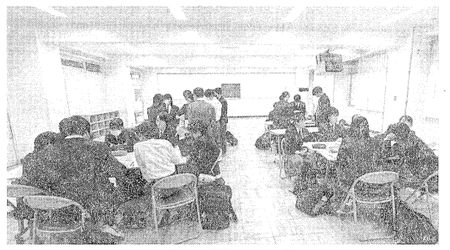
中学生とつくる青少年育成

春岡地区会では、中学生にボランティアとして参加してもらい、地域のイベントや活動を通じて青少年育成に取り組んでいます。

共催する「はるおかふれあいフェスティバル」では、中学生がブースや司会進行を担当し、地域とのつながりを深めています。

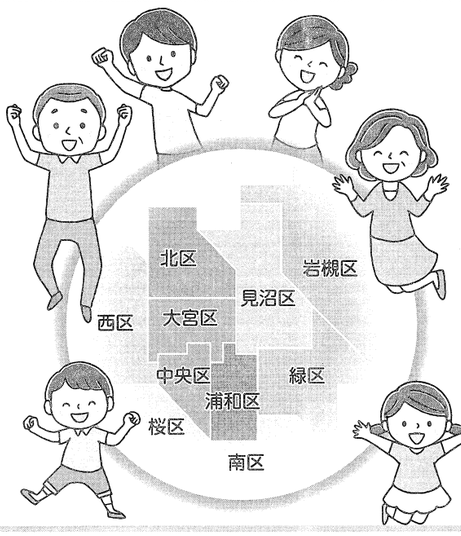
また、「レッツ・ジョイン！クリーン活動」では、学校の協力を得て、安全で楽しめるクリーン活動を実施する為の意見交換を行い、準備や当日の手伝いも行っています。

他にも様々な経験を通じて、中学生の社会性やリーダーシップを育成し、地域社会の一員としての自覚を持たせ、将来にわたって活躍できる人材を目指しています。


クリーン活動作戦会議

こんな活動やっています

地域の輪



緑区 道祖土地区会

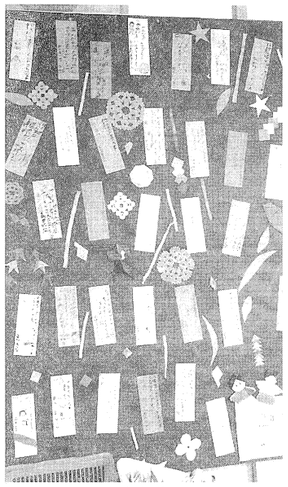
いろいろな行事

当地区会では、夏の『七夕かざり』『夏休みラジオ体操』秋の『さいどっ子まつり』への参加、冬の『どれみふぁさいどコンサート』、『三世代ふれあい広場』などを行いました。

『七夕かざり』は、子ども達と教職員の皆様が書いた短冊を、夜に見立てた紺色のラシャ紙に貼り付けて、クラスごとに楽しい飾りをして教室の外に掲示していただき、保護者会などの時に見ていただきました。

『どれみふぁさいどコンサート』は満員御礼の大盛況でした。

『三世代ふれあい広場』は、上級生と下級生が組になって、地域や保護者のボランティアと三世代で昔遊びを楽しみました。


七夕かざり

桜区 大久保地区会

オセロ大会

当地区会からは、冬の子ども達の楽しみな行事としてオセロ大会を紹介いたします。

地区内の三つの小学校の教頭先生を窓口に参加希望者を募り、大久保地区会が学年別のトーナメント表を作成したり、参加賞などを用意したりします。当日、公民館のホールに何台ものオセロ盤が設置されると、一斉に対戦が始まります。それぞれのオセロ盤には審判が付くのですが、大人に混じって審判をしてくれるのが、かつて小学生の頃、オセロ大会に参加していた大久保地区の中学生たちです。

参加する側からお手伝いする側へと、継続されていくあたたかい絆を感じます。

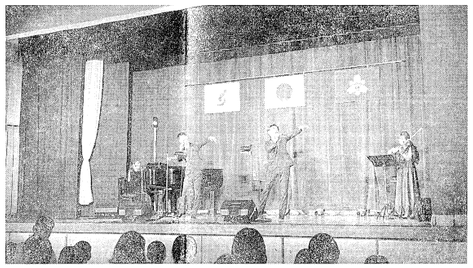
みんな真剣です

浦和区 仲町小地区会

音楽鑑賞会

十月五日（土）、仲町小学校体育館で開催した音楽鑑賞会では、プロの演奏家とクラシック歌手からなるカルテットグループがクラシックから唱歌、歌謡曲、ポップスまで、幅広い名曲を高い技術で披露してくれました。参加者と一緒に歌う場面もあり、子どもたちの明るい歌声と共に会場全体が一体感に包まれました。

当地区では浦和まつり補導詰所設営や書き初め練習会、十二日まち巡回補導など、仲町小学校地区の子どもたちが毎日を安心安全に送れるようさまざまな年間活動を実施しています。


音楽鑑賞会

南区 文蔵地区会

子どもたちの登下校時の見守り活動 地域防犯パトロールに徹しました

文蔵小学校は開校と同時にPTA・地区会・子ども会も発足し、「地域の子どもたちは地域の手で守り育てよう」をキャッチフレーズとして育成会（当時）の活動がはじまり、開校五周年には文蔵二丁目から文蔵小北門に至る直線のメイン通学路を「あいさつ通り」と位置づけ、この頃からあいさつ運動が始まったのです。これを機に、文蔵青壮年会よりコンクリート製の大きな植木鉢の寄贈があり、直線通学路十か所に設置し、花いっぱい運動も二十年ほど続きましたが、通行の妨げになることからいつの間にか撤去されてしまいました。しかし、このように、あいさつ運動が連綿と続いていることから文蔵小の子どもたちは良くあいさつができるのでしょう。

近年になり、コロナ感染予防対策の一環から、一堂に会しての行事等は極力避けるよう行政からの指示もあり、特に子どもたちに関わる行事はすべて中止とし、登下校時の見守り活動は、地区会関係者をはじめ、各自治会にお願いして広範囲にわたり実施していただいております。夏の巡回活動やラジオ体操は通年通りの安全対策を講じて実施しました。その他、月例で実施している各自治会の防犯パトロールや、市民会議指定、一連の巡回防犯パトロール等は地区会三四名の体制で全回出席しました。おかげ様で問題事案は一件もなし。協力していただいた関係団体各位に深く感謝申し上げます。

令和七年度こそ、事業計画通りの事案が遂行できる世情になることを祈っています。